

文部科学省 情報ひろば 『サイエンスカフェ』

主催：日本学術会議、文部科学省

参加無料です

平成24年度・第3回サイエンスカフェを、次のとおり開催いたします。
テーマに少しでもご興味がありましたら、お気軽にご参加ください。



日 時 平成24年9月28日（金） 19：00～20：30
場 所 文部科学省情報ひろばラウンジ（旧庁舎1階）
主 催 日本学術会議、文部科学省
講 師 五十嵐 沙千子さん（筑波大学人文社会系准教授）
ファシリテータ 渡辺 政隆さん
（日本学術会議連携会員、筑波大学広報室教授・サイエンスコミュニケーター）
テーマ 「サイエンスとの〈対話〉は可能か？—3.11 以後の社会を考える」
定 員 30名
参加費 無料

私たちの日々の暮らしは、さまざまなサイエンス（広い意味での科学・技術）に支えられています。ふだんはあまり意識しませんが、昨年の東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故以後、改めてサイエンスとのつきあい方を意識するようになったのではないのでしょうか。

ただ、放射能に対する不安や、食の安全、医薬に関する情報、あるいはこれからのエネルギー問題など、疑問に思ったことに適切な回答を得ることは、それほどたやすいことではありません。それには、適切な情報をほしいときに提供してくれる専門家の顔が見えないということも、関係しているのかもしれません。

今回のサイエンスカフェは、私たちが普段の生活でサイエンスをうまく活用していくにはどうすればいいのか、あるいはどういう社会であればいいのかなどについて、フランクに話し合えればと思っています。講師の五十嵐さんは哲学・現代思想が専門ですが、つくば市を中心に哲学カフェを開催しています。

サイエンスカフェは、もともとパリのカフェで行われていた哲学カフェを参考に始まったものです。その意味で、今回はサイエンスカフェの原点に戻り、参加者全員が普通の生活者の立場で、サイエンスとの関係を考えてみたいと思っています。

多様なバックグラウンドの方々の参加をお待ちしています。